

令和7年度 日本大学危機管理学部
編入学試験 募集要項

1 危機管理学部アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

日本大学危機管理学部（学士（危機管理学））は、本学の教育理念である「自主創造」、本学部の教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）に合致する、下記のような資質豊かな人材を求める。

危機管理に不可欠な資質として、複雑な現代社会の危機に向き合いながら、その解決方法を追究する真摯な姿勢と志を持ち、高等学校とそれに準ずる教育課程において、危機管理学の探究に必要な基礎学力、柔軟な発想と幅広い視野を身に付けている人材。

上記の人材を、①意欲・経験・適性、②知識・技能、③思考力・判断力・表現力、④主体性・計画性・協働性について評価する、多様な入学者選抜試験によって受け入れる。

① 意欲・経験・適性

知識と経験とを発展させて、意欲的に課題に向き合うことができる。

② 知識・技能

知識や技能を駆使して、課題を探究することができる。

③ 思考力・判断力・表現力

課題に対して幅広い視野でその原因と対処法を考察し、そのプロセスを適切に表現することができる。

④ 主体性・計画性・協働性

主体的かつ計画的に、他者と協働しつつ、課題解決に取り組むことができる。

※入学者の選抜は、本ポリシーに従って行われます。これを十分に理解し、出願することが求められます。

2 危機管理学部入学者選抜の基本方針及び編入学試験の対応関係

日本大学危機管理学部（学士（危機管理学））は、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に従い、本学の教育理念に合致する人材を受け入れるために、①「意欲・経験・適性」、②「知識・技能」、③「思考力・判断力・表現力」、④「主体性・計画性・協働性」の評価要素について、一般選抜，総合型選抜，学校推薦型選抜，校友枠選抜，編入学試験，及び転部試験の各区分に応じ、個別学力検査，総合問題試験，面接・口頭試問，プレゼンテーション，グループディスカッション，志望理由書，課題レポート，出身高等学校等調査書を含む書類審査，その他の評価方法を組み合わせ、多様な入学者選抜を実施する。

各評価要素の内容は、以下のとおりとする。

① 「意欲・経験・適性」

- － 1 意欲とは、学修への内発的動機付けをいう。
- － 2 経験とは、学修への内発的動機付けに連なる、没入体験や体験活動をいう。
- － 3 適性とは、学修への内発的動機付けに繋がる、自己客観視や省察を伴って特定された、将来のビジョンをいう。

② 「知識・技能」

- － 1 知識とは、国語・英語・数学・地理歴史・公民など、高等学校とそれに準ずる教育課程において学修した基礎的学力のうち、主として情報や認識の運用力をいう。
- － 2 技能とは、国語・英語・数学・地理歴史・公民など、高等学校とそれに準ずる教育課程において学修した基礎的学力のうち、主として作業の実行力をいう。

③ 「思考力・判断力・表現力（コミュニケーション力を含む）」

- － 1 思考力とは、物事を論理的、戦略的又は批判的に考え抜く能力をいう。
- － 2 判断力とは、物事を正しく認識し、評価する能力をいう。
- － 3 表現力とは、知識や情報を状況や場面に即して適切に伝達する能力をいい、互いに意思疎通を円滑に繰り返すコミュニケーション力を含む。

④ 「主体性・計画性・協働性」

- － 1 主体性とは、課題と向かい合い、その解決のために主体的に考え、行動しようとする姿勢をいう。
- － 2 計画性とは、学修やキャリア形成を継続的、計画的に実行しようとする姿勢をいう。
- － 3 協働性とは、他者との協力において課題を解決し、又は自己を高めようとする姿勢をいう。

○各評価要素の編入学試験との対応関係

編入学試験では、以下の指標をもとに、②「知識・技能」を重視しつつ、①「意欲・経験・適性」、③「思考力・判断力・表現力」、④「主体性・計画性・協働性」と合わせて総合的に評価する。

書類審査 ①, ②

語学試験 ②

専門試験 ②, ③

面接・口頭試問 ①, ②, ③, ④

3 募集人員・編入学年次

募集学科	募集人員	編入学年次
危機管理学科	若干名	2年次

4 出願資格

次のいずれかの要件に該当する者。

- ①短期大学（専門職短期大学、外国の短期大学及び我が国における外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を含む）を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。
- ②大学（専門職大学、外国の大学及び我が国における外国の大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（大学相当）日本校）を含む）を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。
- ③高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。
- ④高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び令和7年3月修了見込みの者。
- ⑤専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び令和7年3月修了見込みの者。
- ⑥本学学部を除く大学（専門職大学、外国の大学及び我が国における外国の大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（大学相当）日本校）を含む）に1年以上在学し、教職課程等の科目を除き30単位以上修得した者及び令和7年3月修得見込みの者。

※現在在学中の大学または短期大学等に外国人留学生として入学している場合は出願前に三軒茶屋キャンパス（03-6453-1600）までご連絡ください。

5 修業年限と在学年限

修業年限 本学部の教育課程を修了するために必要な在学期間

在学年限 本学部に在学することができる年数

入学形態	所定の修業年限	在学年限
2年次編入	3年	7年

*休学の期間は、在学年限に算入されますが、修業年限には算入されません。

6 出願書類及び選考方法

①出願手続

出願期間 令和7年2月5日(水)～2月6日(木) [簡易書留(郵送必着)]

- 出願書類 (1) 志願票(学部指定用紙)
(2) 志望理由書(学部指定用紙)
(3) 卒業(見込)証明書等(出願資格④, ⑤, ⑥に該当する者は在学証明書)
(4) 成績証明書等
(5) 入学検定料(35,000円)
※「ご利用明細」などの振込み控えコピーをA4用紙に貼りつけたもの。
(6) 受験票返送用封筒(学部指定用紙)

※出願資格の単位数の修得を成績証明書だけで証明できない場合は現在履修中の科目及び単位数が記載された証明書(単位修得見込証明書又は履修証明書等)も提出すること。

※(5)以下の納入方法でお振込みください。振込手数料は、振込人の負担となります。いったん納入された検定料はいかなる理由があっても返還しません。

振込先

銀行名 三菱UFJ銀行(0005)

支店名 三軒茶屋支店(700)

預金科目 普通

口座番号 0200917

口座名義 ニホンダイガクサンゲンチャヤキャンパス

依頼人名義については、「40700・志願者氏名」の順で送信してください。

②試 験

実施日 令和7年2月15日(土)

- 選考方法 (1) 書類審査
(2) 語学試験(英語)
(3) 専門試験(論述)
(4) 口頭試問及び面接

試験会場 日本大学三軒茶屋キャンパス

③合格発表日

令和7年2月28日(金) ※本人へ合否結果を郵送します。

④入学手続期間

令和7年2月28日(金)～3月10日(月)

7 事前審査(任意)

- ・出願受付の前に編入学後の単位認定に関する事前審査を行います。(単位認定基準は別に定める)
- ・事前審査は、編入学後の認定単位数の概要を知り、修学についての見通しを得ること

を主たる目的として、編入学前教育機関における修得単位の確認を行うものです。

- ・事前審査の申請は任意です。
- ・提出期間内に下記の書類を簡易書留郵便にて三軒茶屋キャンパス宛に送付してください。事前審査結果は出願受付開始日の1週間前をめどに文書で通知します。

※事前審査の結果によっては、出願の取り止めを勧める場合もあります。

①提出書類

提出書類等	摘 要
事前審査申請書	本学所定用紙
成績証明書	既卒の者は、最終出身学校の成績証明書
単位修得見込証明書又は履修証明書等	在学中の者で、既に修得した科目・単位数及び現在履修中の科目・単位数を証明できるもの
講義要綱（シラバス）の写し	卒業又は在学中の教育機関の授業内容の詳細が明記されたもの。

②提出期間

令和6年12月2日（月）～12月6日（金）[簡易書留（郵送必着）]

③提出先

〒154-8513 東京都世田谷区下馬 3-34-1

日本大学三軒茶屋キャンパス 入試係

8 学費等

令和7年度編入学者（危機管理学科）

種別	項目	入学手続時納入金	9月納入金	備考
学費	入学金	260,000円		入学時のみ
	授業料	430,000円	430,000円	
	施設設備資金	100,000円	100,000円	
	実験実習料			
その他	後援会費	15,000円	15,000円	
	校友会準会員年会費	10,000円		
合計		815,000円	545,000円	

※日本大学三軒茶屋キャンパス後援会費として、毎年30,000円納入していただきます。後援会は、三軒茶屋キャンパスの教育・研究を支援し、発展に寄与することを目的としています。

※日本大学校友会準会員会費として、毎年10,000円納入していただきます。

9 入学辞退手続

入学手続完了後（入学手続時納入金を全額納入した後）にやむをえない理由により入学を辞退する場合は、電話により令和7年3月31日（月）17時までに入試係（03-6453-1600）まで申し出てください。申し出を受理した後に「入学辞退願」を送付いたしますので、必要事項を記入の上、以下の書類と併せて速やかに返送してください。手続き終了後、入学

金を除く入学時納入金（諸会費等を含む）を返還いたします。なお、いったん提出された入学時書類及び入学金は返還いたしません。

また、令和7年4月1日（火）以降の申し出に対しては、入学時書類及び入学金を含む入学時納入金の返還はいたしません（日本大学学生生徒等総合保障制度については、約款の定めるところによる）。

【提出書類】

- ①入学辞退願
- ②編入学許可書

【注意】

- ①入学辞退の申し出受理に際しては、直接本人の意思確認をさせていただきます。
- ②入学辞退の申し出を受理した後の辞退取消しは認めません。
- ③「入学辞退願」が提出されない場合、入学金を除く入学時納入金（諸会費等を含む）の返還手続きができませんので、必ず提出してください。

10 問い合わせ先

〒154-8513 東京都世田谷区下馬 3-34-1

日本大学三軒茶屋キャンパス 入試係

TEL 03-6453-1600 FAX 03-6453-1630

※ 受験に際し、病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮を希望される場合は、申請（医師の診断書等を御提出いただきます）に基づき、対応可能な措置を講じます。申請される場合は、出願前のできるだけ早い時期に必ずお問い合わせください。

11 その他

【個人情報の保護について】

日本大学（短期大学部を含む）では、出願書類にご記入いただきました志願者の氏名・住所等の個人情報は、入学試験の出願受付、実施、合格発表、さらには入学に至る一連の手続きと、日本大学で学生生活を始めるにあたり必要となる書類・お知らせの送付及び入学者データの統計処理のために使用します。

なお、日本大学はこれらの業務の一部を業者に委託する場合があります。この場合、日本大学及び当該業務の委託を受けた業者は、上記利用の目的に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはありません。

【編入学許可の取消し】

- ① 出願資格を「見込み」で出願し、入学時までに出願資格を得られなかった場合は、入学が許可されません。
- ② 出願資格を「見込み」で受験し、本学への入学時納入金を全額納入した後に、入学時までに出願資格を得られなかった場合、入学許可は取り消しとなります。その際、入学時納入金から入学金を除いた金額（諸会費を含む）を返還します。

以 上